

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和4年度 第2回「健笑庵のぎ」運営推進会議

※新型コロナウイルス感染症に配慮して、会議関係者に事業報告資料を送付し、紙面にて意見及び質問そして、要望を伺う方法で対応いたしました。

対象事業者名：(有) ケアサポートことぶき「健笑庵のぎ」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日：(報告書配布日：令和5年1月26日)

開催場所：—

出席者：9名 ※会議関係者

事業所(担当者)	3名	利用者	2名
利用者家族	1名	地域代表者	1名
松江市職員	1名	包括支援センター	0名
知見を有する者	1名	その他	0名

【議事・議題】

1. ご利用状況(令和4年12月現在)

登録者数 (設置基準別) 47名	総合事業通所サービスA(緩和型)	15名 (男性：4名、女性：11名)			
	総合事業通所サービス(従前型)	7名 (男性：0名、女性7名)			
	地域密着型通所介護	25名 (男性：1名、女性：24名)			
介護度別登録者数	事業該当：3名	要支援1：7名(内、緩和型4名)	要支援2：12名(内、緩和型8名)		
	要介護1：20名	要介護2：5名	要介護3：0名	要介護4：0名	要介護5：0名
利用回数状況	週1回：23名	週2回：9名	週3回：9名	週4回：4名	週5回：2名
各月総利用数 (R4.7~12)	7月：344名	8月：352名	9月：348名		
	10月：340名	11月：355名	12月：339名		

2. 活動報告(令和4年7月~令和4年12月)

1) レクリエーション活動

7月	・七夕飾り作成 ・すいか割りゲーム ・ビンゴゲーム ・マネーキャッチゲーム ・誕生会
8月	・曜日対抗ゲーム[金魚すくいゲーム] ・ボウリング ・ゴルフ ・誕生会
9月	・敬老会 ・バランスゲーム ・朝の歌[秋バージョン] ・カレンダー作成 ・誕生会
10月	・運動会 ・バランスゲーム ・カレンダー作成 ・誕生会
11月	・日本地図パズル ・漢字パズル ・カレンダー作成 ・誕生会
12月	・クリスマス会 ・年越しそば昼食 ・クリスマス壁画作り ・朝の歌[冬バージョン] ・誕生会

2) 日曜デイサービス

7月	[一畑薬師参拝] 第2班(参加者10名) 内容：一畑薬師参拝
8月	[納涼会] 第1班(参加者14名) 内容：射的・輪投げなどゲーム、ビンゴ大会、ビデオ鑑賞、昼食/焼きそば
9月	[納涼会] 第2班(参加者13名) 内容：射的・輪投げなどゲーム、ビンゴ大会、ビデオ鑑賞、昼食/焼きそば
10月	[宍道湖遊覧] 第1班(参加者11名) 内容：はくちょう号に乗船し宍道湖遊覧、昼食/カレーライス

11月	[穴道湖遊覧] 第2班 (参加者13名) 内容：はくちょう号に乗船し穴道湖遊覧、昼食/カレーライス
12月	[望年会] 第1班 (参加者14名)、第2班 (参加者12名) 内容：職員による手品・劇、リズム体操、茶話会/クリスマスケーキ

3) その他

○その他の活動：防災訓練 (毎月)、畑・花壇作り (年中行事)、洗濯物たたみ (毎日)

3. 相談および苦情受付状況・事故報告 (対象期間：令和4年7月~12月)

1) <相談・苦情事例>

*この期間での受付はありません。

2) <事故事例>

*この期間での発生はありません。

3) <ヒヤリハット対象事例>

*この期間での該当はありません。

4. 研修会および勉強会

【外部研修】

実施日	研修会内容	参加者
12/8	気を付けたい高齢者の誤嚥と誤嚥性肺炎 (WEB参加) (講師：松江市立病院看護師 原田久美子)	6

【内部研修】

実施日	研修会・勉強会内容	参加者
9/26	デイ会議 (ケース検討会)	4
11/18	救急時対応について (講師：松江市南消防署湖南出張所救急隊員)	13
11/25	下部胆管癌について①	5
12/7	下部胆管癌について②	5

5. ボランティア、福祉体験等受け入れ状況

○12月18日：日曜デイサービス [望年会] 地域ボランティア1名参加

6. 業務継続計画 (BCP) の策定に関わって

令和3年度介護保険法の改正に伴い、当事業所を含む指定介護事業者は、感染症や自然災害等の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するため、また非常時の体制で早期の業務再開を図るための「業務継続計画 (BCP)」策定し、それに従い必要な措置として、研修や訓練、また計画の修正など平時からの備えを行うよう義務化 (令和6年3月31日迄は努力義務) されています。

弊社ではこれを受け、令和5年度中の計画策定の完了を目指し取り組んでいるところです。策定の内容項目、また策定上の課題は以下の通りです。

○策定内容

①感染症に係る業務継続計画

- a 平時からの備え：体制の整備、感染防止に向けた取組、消毒液や防護用品の確保など
- b 初動対応：感染確認からの対応手順など
- c 感染拡大防止体制の確立：保健所との連携、濃厚接触者への対応、関係所との情報共有など

②災害に係る業務継続計画

- a 平常時の対応：建物や設備の安全対策、必要品の備蓄など
- b 緊急時の対応：対応体制など
- c 地域及び関連機関との連携：避難や救助支援の連携体制など

③研修について

- a 業務継続計画について職員間で共有
- b 災害に対する知識と備えの理解の励行
- c 感染症予防とまん延防止のための研修の機会

④訓練について

- a 計画に基づく役割分担の確認、実践するケアの演習を行う
- b 年一回以上の定期的開催

○『健笑庵のぎ』における、策定上での課題及び問題点

- ①従業者数が少数のため、体制上の役割分担が兼務重複する。
- ②また従業員の代替えや緊急補充に限界があり、災害時のケア体制が不十分である。
- ③通所介護の単独サービスのため施設を利用する支援には限界がある。
- ④災害状況やその程度により、段階的な体制構築が必要となることから策定が複雑多岐に及んでいる。
- ⑤事業規模に応じた実施可能な計画査定が必要である。

7. 新型コロナウイルス感染症や市場の価格高騰による通所介護事業運営への影響について

3年を超える、新型コロナウイルス感染症の影響は、当通所介護事業所の運営に次第に大きなものとなっています。感染対策としての業務や環境は標準化してまいりましたが、感染発症に関連し、当事者である場合は事業所との関わり方に応じて事業所の一時休止の処置を講じたり、濃厚接触者も含め一定期間の外出停止等により、職員の場合は業務へのしわ寄せが必然となり、利用者の場合は一定期間の欠席や自主的な利用控えなどにより、利用者減少に繋がる状況が運営上、深刻な問題となっています。また、それに加え昨年来より物価高騰による影響を受け、このことも併せ事業所継続の問題といっても過言ではなく、今後の事業所を運営する上で更に深刻な課題となっています。当事業所でも可能な範囲で業務の効率化を図るなどの処置を講じているのですが現状では打開策に至っていないのが現状です。当事業所は開設時より一貫して少人数へのケアを基本とした個別支援に取り組んでいます。その「個人」が地域で暮らしていくことを何よりも大事に考えて、そのための通所介護事業所として多くの皆様にご活用いただいております。しかしながら、要支援者の介護保険からの切り離しや介護報酬の内容などこれらの現状に乖離した状況がますます鮮明になっているように感じています。私ども事業所は「地域密着型」として、この市内地域の現状に即した介護サービスであるべきと考えております。「介護の問題は地域にあり」という認識のもと地域の一員として、更なるサービスの質の向上を目指していく所存です。今後ご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い致します。

8. 報告に対する質問意見および要望

〈意見・要望〉

1) 「利用状況」について

- ・緩和型、従前型、地域密着型等、サービスの区分があることが分かりました。[地域代表]
- ・人数（一日15名定員）についてはこれ位がちょうど良い。[利用者A]
- ・色々な人と話が出来て良い。[利用者A]
- ・年寄りにとってとても良い制度だと思う。[利用者A]
- ・今、週2回利用しているがこれ位でちょうど良い。家ででの用事も出来た上で、楽しく気分転換ができています。[利用者B]

2) 「活動報告」について

①「レクリエーション活動」について

- ・まず、何をやるのかの発案が大変だと思いますが、季節感のある活動が実施されていると思います。[地域代表]
- ・色々な事が出来て良い。[利用者A]
- ・難しいことは出来ないが、自分の出来ることをしている。ちょうど良い。[利用者A]
- ・色々な人と話が出来て楽しい。顔馴染みもできた。[利用者B]

②「日曜デイサービス」について

- ・継続が望まれる。[利用者家族]
- ・一畑薬師、宍道湖遊覧はご利用者には貴重なお出かけの機会になったと思います。[地域代表]
- ・あった方が良い。家に居てはテレビばかり見ているので呆けてしまう。[利用者A]
- ・季節ごとの花を観に行ったり、外出したりが楽しみ。[利用者A]
- ・お出かけは好き。次が楽しみ。これからも続けたい。[利用者B]

③その他の活動について

- ・防災訓練、洗濯物たたみは必要なこと。これからもやります。[利用者A]

3) 相談及び苦情受付状況・事故報告について

- ・ヒヤリハット事例がないのは立派なことだが、今後も継続することを願います。対応策のマニュアルが必要。[利用者家族]

4) 研修会及び勉強会について

- ・勉強は良いんじゃないでしょうか。[利用者 A]
- ・よく勉強されている。誤嚥対策はより重要。吸引器、AED の設置は可能ならばお願いしたい。[利用者家族]

5) ボランティア等の受け入れの状況

- ・コロナ禍で、なかなかボランティア等、外部からの受け入れは難しかったと思います。[地域代表]
- ・学生さん達、若い人と交流が出来ると良いですね。[利用者 A]
- ・楽器演奏やマジックなど、少し娯楽面の支援も検討して欲しい。[利用者家族]

6) 業務継続計画 (BCP) の策定に関わって

- ・介護保険法の改正により、より現場の負担が大きくなるような気がします。詳しくは分かりませんが決まりごとが多すぎるのではないかと、もっと実情を分かってほしいと思います。[地域代表]
- ・事業所の規模や、災害状況、感染状況はその時の状況により複雑だと思います。可能な範囲での計画策定が必要ですが策定がゴールではなく、日々の変化を把握し次につなげていくことが重要だと思います。[有識者]
- ・コロナ感染が今尚持続中の現状では、感染防止対策の策定が喫緊の課題。発症時のシミュレーションが必要。[利用者家族]

7) 新型コロナウイルス感染症や市場の価格高騰による通所介護事業所運営への影響について

- ・介護現場はどれも今、厳しいと思います。その中で限られた設備や少数のスタッフの皆さんで「健笑庵のぎ」さん、頑張っておられると思います。ご利用者もスタッフも笑顔で過ごされますよう、期待しています。[地域代表]
- ・新型コロナウイルス感染症が今後5類感染症に下がる予定ですが、5類感染症になってからの各事業所における感染対策が課題になってくるのではないのでしょうか。[有識者]
- ・市場の価格高騰により事業所継続の問題は、どこかの事業所においても頭をかかえる問題ではないかと思っています。その中で「地域密着型」として「介護の問題は地域にあり」という認識のもと取り組んでいかれる姿は素晴らしいと思います。[有識者]
- ・マスクをつけるなどの予防は必要なこと。特に不便も感じません。これからも続けます。[利用者 A]
- ・高齢者の集団なので、感染リスクは大きく、防止対策をより一層進めて頂きたい。[利用者家族]

〈質問〉

- ・Q：ボランティアの受け入れ回数が少ない理由は何か。[利用者家族]

A：今回も新型コロナウイルス感染症の影響が基本的にあると思いますが、今後事業所運営の中で地域交流は重要なことと考えています。その中でもボランティアの活用は最も大切な要素です。感染対策を確保しながら積極的な受け入れを行いたいと考えています。

〈その他：意見・要望など〉

- ・この度、民生委員を引き継ぎました。私の実家の母も長らく、デイサービスや入所施設でお世話になりました。その間、ヘルパーさんや職員の方に献身的にお世話して頂き、家族では抱えきれなかった面を充分サポートしてもらいました。介護保険法はよくわかりませんが、改正、改正で現場にしわ寄せが来ては意味がないですね。スタッフさんに心の余裕があり、笑顔があってこそ。ご利用者にとっての良い介護が生まれるのだと思います。大変でしょうが頑張って下さい。[地域代表]

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○